

# MCC雑感2010-1

於：築地・JARP 会議室

出席：12名

## 1) 今月のテーマ 「プリンター」

パソコン周辺機器中の最大且つ必須アイテムであるが、何故かこれまでMCCでは研修していない。

デジタルデータのアナログ化ということには背を向けていたから、或いは写真について格別の想いが無かったから、一応念のため程度に使っていただけだから……

しかしIT進化に応じてプリンターもまた非常な進化を遂げ続けている。

特記すべき点を思いつくままに記すと

- \*複合機が当たり前になった
- \*スピードが格段に早くなった
- \*解像度が大きくなって格段に綺麗になった
- \*用紙の進化も著しい
- \*故障（紙詰まり、インク目詰まり、ハードウェアの欠陥など）が激減して使  
いやすくなった
- \*ダイレクト・プリントが進んだ
- \*レーベル印刷など便利機能が増えた
- \*本体価格が大幅に廉くなった
- \*スキャナーでPDF保存が可能になった

日本ではエプソン・カラリオとキャノン・ピクサスの2強の時代が動きそうにないので、我々のように「ミドルレンジ」ユーザーはこの両者のいずれかから選ぶのが妥当であろう。

プリンターを選ぶについては、所謂SOHOとすらも云えないユーザーである我々としては、万能型であり、ミドルレンジを選ぶのが妥当であろう。

以下「選び方」という視点から、今後の買換えの際の参考となる項目を挙げて行こうと思う。

氏名	購入時期	メーカー		具合・問題点	利用度	交換の予想
1 亀山 晃一	01-9	HP	*840C	特に問題なし	あまり使っていない	現在予定無し
2 小島 豊康	02-4	EPSON	*PM850	特に問題なし	一応スムーズに動いている	未定
3 田中 弘文	03-	Cannon	*BJF850	そろそろ複合機かな？	満足度70%	機種未決定
4 荒川 正三	04-4	EPSON	MP900C	Good	順調です	近々EP802A購入予定
5 竹内 弘	04-	EPSON	PM-970C	全く問題なし	昨年9月メンテナンスした	PC交換の時
6 広田 丹	05-	EPSON	PM-A700	不調 最終印刷不能、色が悪い	満足度30%	暫らく我慢する
7 石井 利一	05-12	Cannon	*IP4200	インク漏れが生じたことありヘッド交換した	その後順調	現在予定なし
8 石田 健二	06-1	EPSON	PM-A750	特に無し	スキャン、写真プリントは殆んどやらない	PC交換の時
9 田中 典介	06-	Cannon	MP800	特に悪くない	最近の写真などやらない	未定
10 副島 勤	06-	HP	2610	時に紙送りが増数になる	不満は無い	今は考えてない
11 徳田 浩次	06-12	Cannon	MP600	Good	満足している	特に予定無し
12 大塚 昭	07-1	Cannon	MP500	一年で歪みが出て、部品交換した	コピー速度が速いが納得している	今のところ無し
13 吉田 益担	07-12	Cannon	MP170	特に無し	普通です	特に予定無し
14 久保田 博義	08-4	Cannon	MP610	非常に順調	非常に満足している	ADFが欲しい
15 矢野 昭二	08-12	EPSON	EP-801A	用紙の重排排出はまたある	満足度70%	なし
16 橋本 大造	09-10	EPSON	EP-801A	普通		

\* 複合機ではない



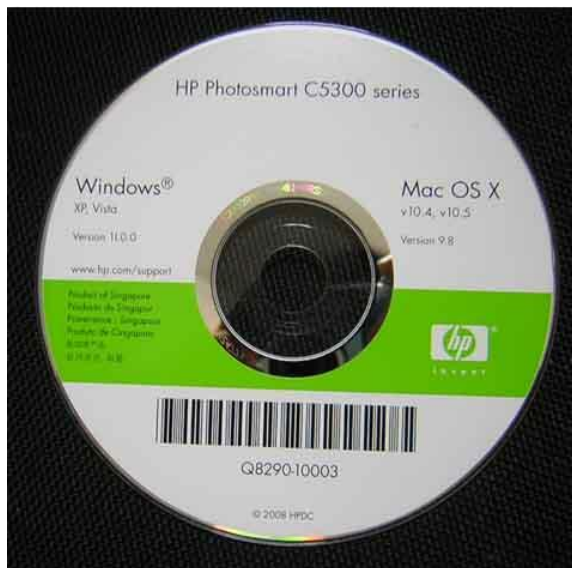


### 3) 矢野ドクターの実践講座

今月の内容は周辺機器を新しくした場合に生ずる可能性のある、OSが新機器を認識しないトラブルに対処するために理解すべき「ドライバー」についてで、極めて具体的な実践講座だった。

周辺機器をOSに認識させて、使用できるようにするソフトウェアのこと。デバイスドライバ、または単純にドライバとも呼ばれる。

OSが標準でサポートする一般的な周辺機器を除き、市販されている周辺機器にまずドライバソフトが添付されている。周辺機器を使用するには、まず最初にドライバソフトをインストールし、パソコンが周辺機器を認識できるようにするという手順を踏むことになる。



なお、メーカーのWebページではドライバソフトのアップデートを公開している場合が多く、新バージョンのドライバへアップデートすることで不具合が解消されたり、新機能が使えるようになることもあるので、時々チェックしておいたほうがよい。

### 4) 「空メール騒動」

広田夫人のパソコンに送信者、件名、本文一切が全く記されていないメールが毎日数通飛び込んで来るということで、この正体は何か、解決策は無いかとのお問い合わせがあった。

当初これはウイルスの類かなどとも考えてしまったが、偶々日経パソコンの1月25日号に解決策が詳しく載っていた。

先ずこの種のメールは所謂「迷惑メール送信をビジネスとする業者」が発信しているもので、有効なメールアドレス収集のために適宜なアドレスに発信し、受信されれば自動的に登録して、爾後迷惑メールが送られてくることになる

いう仕掛けらしい。

これの拒否は難しい。何故なら当該送信者を拒否対象とするようプロバイダーに申し入れても、その送信者名が「空白」なのだからである。

ところが、日経パソコンに示された解決策は、メールソフトの標準機能にある「メッセージルール」の設定で、「送信者に@を含まない」メールを迷惑メールフォルダー或いは削除済みフォルダーに振り分ければよい、というもの。こうすれば、入って来る「空メール」は自動的に削除されてしまうから毎日不愉快な思いをすることは無い。

このような解決策は正しくコロンブスの卵で云われてみれば簡単なことなのだが、一寸我々凡人には思いつかない・・・見事なIT技術だろう。

PS：この解決策は広田さんが夫人のパソコンに触ることを拒否されているので、その効用についてはその後の報告はない。  
病人に治そうという気持が無いと、医者は無力ということか!?

—おわり—